

意見交換会「議員と語ろう会」

曾於市消防団×総務常任委員会

曾於市議会では、今年度から議会報告会に代わる新たな取組として、市民の皆様の多様な意見・要望等を今後の議会活動の参考とするため、意見交換会を開催することにしました。今回は、令和5年11月2日（木）に消防団本部の皆様と意見交換会を実施しました。



消防団との意見交換会の様子

2班に分かれて実施しました

1班 テーマ「消防団員の確保について」

- 分団によっては各自治会から消防団員を出してもらっている状況もある。また、地域によっては、日中の災害現場に集まることは難しい状況もある。
- 団員確保のために、活動時のケガなどに対する補償の充実も考えていかなければならない。
- 市の職員の消防団としての活動体制の充実が図れば、火災時にも十分に対応できるのではないかと。
- 分団を統合するにあたっては、「現状の団員数を減らす」ということがないようにしなければ、団員が減っていく一方である。
- 分団の統合については、分団同志で互いに活動内容を十分すり合わせてやっていかなければならない。
- 団員確保の方策を、消防団の幹部で検討して実施してもなかなか厳しい状況である。

2班 テーマ「地域活動への関わりについて」

- 地域活動には、学校行事、花火上げ、駐車場整備等や、中にはボランティア的に参加しているものなど多種多様である。費用弁償の支給対象をさらに明確にできれば、活動しやすいのではないかと。
- 消防団に対する地域からの活動要請を事前に市役所を通じて申請するように確立できれば、スムーズにいくのではないかと。
- 野焼きに対する警戒要請について、地域間で連携をとって野焼きをすることができれば、消防団としても対応しやすいのではないかと。
- 分団からの費用弁償等の申請事務が迅速にできるよう改善したい。
- 分団運営費の交付もあるが、管轄戸数が少ない分団は、後援会からの活動補助も少なく苦慮している状況もある。
- 消防団本部の活動費用の拡充を図ってほしい。

故人の功績をたたえ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

市議会議員大川内富男氏が、在職中の令和5年11月6日御逝去されました。満77歳でした。

同氏は、末吉町議会議員に平成15年5月に初当選され、末吉町議会で1期（2年2か月）、曾於市議会で6期（18年5か月）、通算20年7か月にわたる議員活動の中で、町議会議員時代から文教厚生常任委員を長く歴任され、平成23年12月には文教厚生常任委員長として2年間、そして、平成25年12月から曾於市議会の副議長として2年間、当時の議長を良く支え、その職責を全うされ、住民福祉の向上と市政発展に寄与されました。

